茨城県移動性·安全性向上委員会

第27回委員会資料(移動性)

令和3年3月11日

国土交通省 常陸河川国道事務所

目次

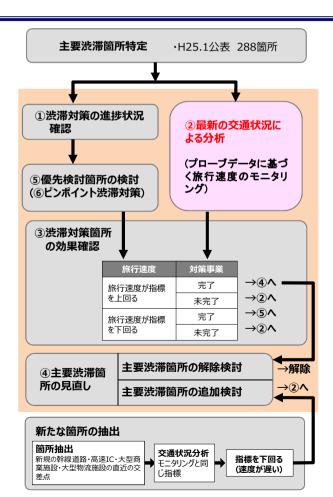
今回の報告内容と審議事項	•••••	2
最新の交通状況による分析	•••••	3
主要渋滞箇所の見直し	•••••	1
ピンポイント渋滞対策について		22

◆今回の報告内容と審議事項

以下の点について意見交換を実施していきたい。

- ①渋滞対策の進捗状況確認
- ②最新の交通状況による分析
 - ・新型コロナウイルスの情勢に伴う交通状況分析
 - 緊急事態宣言時に指標の基準を上回る箇所の対策方針[審議項目]
- ③渋滞対策箇所の効果確認
- ④主要渋滞箇所の見直し
 - •一定期間選定要件以下の箇所の見直しについて[審議項目]
- 5優先検討箇所の検討状況
- ⑥ピンポイント渋滞対策について
 - ・主要渋滞箇所の対策立案について
 - ・大工町交差点における渋滞対策

最新の交通状況による分析



- ▶ 前回委員会では、緊急事態宣言時における交通量の変化及び幹線道路同士の主要渋滞箇所の速度状況について分析を実施。
- ▶ 通常時に比べ、交通量は減少傾向にあり、主要渋滞箇所の速度は改善がみられた。
- ▶ 一方、緊急事態宣言時においても、モニタリング指標の基準を下回る箇所が見受けられる。
- ▶ 今回委員会では、市町村道を含む全主要渋滞箇所について、通常時と緊急事態宣言時のモニタリングを実施し、緊急事態宣言時でも指標の基準を下回る箇所の速度状況の傾向を把握する。また、指標の基準を上回る箇所の速度改善策としてTDMを検討。

◆第26回委員会での分析内容

◆新型コロナウイルスの影響による交通状況の変化

【緊急事態宣言時における交通状況】(第26回資料再掲)

緊急事態宣言時の交 通状況

- 交通量は平日・休日ともに減少。(平日で約1割~2割、休日で約2割~4割減少)
- 交通量の減少に伴い、旅行速度も向上。

(主要渋滞筒所の旅行速度)

平日昼間12時間平均旅行速度:12%向上

平日ピーク時:21%向上 休日ピーク時:7%向上

主要渋滞箇所のモニタリング結果

- 幹線道路同士の主要渋滞箇所154箇所※のうち、モニタリング指標の基準を上回る箇所(速度が速い)は37箇所。
- 残りの117箇所は緊急事態宣言時においても指標の基準を下回る。(速度が遅い)

※幹線道路同士の主要渋滞箇所155箇所のうち、 データ欠損箇所を除く154箇所を対象

【新しい生活様式における今後の渋滞対策のあり方】(第26回資料再掲)

今後の方針

- 緊急事態宣言時においても、モニタリング指標の基準を下回る117箇所では、交通量が減少した場合でも、主要渋滞箇所からの解除が見込まれる程の旅行速度の改善はみられない。
- 上記箇所については、速度低下要因を詳細に分析することが必要である。
- 今後、速度の低下度合いや速度低下方向(交差点のどの方向が速度低下しているか)などを 分析し、交通状況の把握を行う予定。

◆今回の検討内容

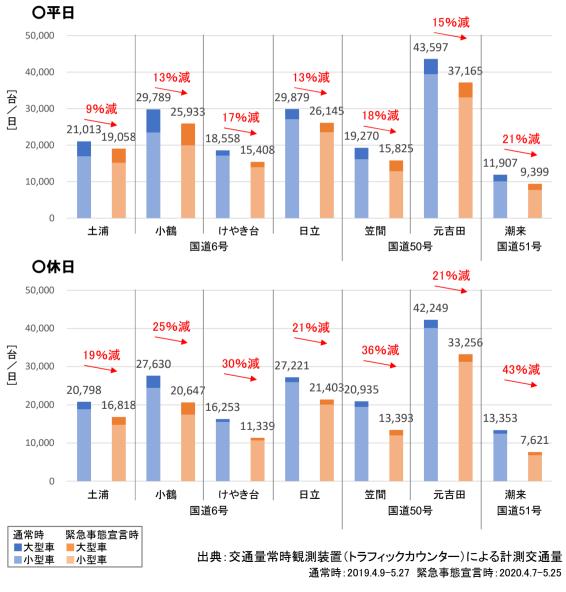
内容

- 市町村道を含む主要渋滞箇所も含めた、全主要渋滞箇所について、通常時と緊急事態宣言時 のモニタリングを実施。
- モニタリング結果・速度状況を詳細に分析し、緊急事態宣言時でも指標の基準を下回る箇所の 速度状況の傾向を把握。
- 緊急事態宣言時に指標の基準を上回る箇所の速度改善策としてTDM(交通需要マネジメント)を 検討。

◆新型コロナウイルスの影響による交通状況の変化

- 新型コロナウイルス感染拡大防止にむけた緊急事態宣言時及び前年同時期(通常時)における茨城県内の交通状況の変化を分析。
- 通常時に比べ、緊急事態宣言時では、平日交通量で約1割~2割減少、休日は平日より減少率が高く、各路線で約2割~4割減少。
- 直轄国道では、全体的に交通量の減少傾向がみられる。

■交通量の変化(第26回資料再場)





◆新型コロナウイルスの影響による交通状況の変化

- ▶ 主要渋滞箇所281箇所※について、通常時と緊急事態宣言時でモニタリングを実施。
- ▶ 指標の基準を上回る(速度が速い)箇所は、通常時21箇所に対し、緊急事態宣言時では39箇所と増加。
- ▶ 交通量減少に伴う速度向上により、緊急事態宣言時ではモニタリング指標の基準を上回る箇所が増加したことがうかがえる。
- ▶ 一方で、緊急事態宣言時においても、指標の基準を下回る(速度が遅い)箇所が242箇所みられる。

■モニタリング結果

◆モニタリング指標(従来通りの指標で実施)

281箇所※

主要渋滞箇所

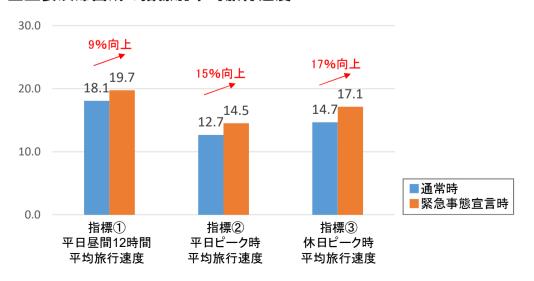
- ①平日昼間12時間平均旅行速度が20km/h以下■
- ②平日ピーク時平均旅行速度が20km/h以下
- ③休日ピーク時平均旅行速度が20km/h以下

緊急事態宣言時で 速度が改善

39箇所

	通常時 2019.4.9-5.27	緊急事態宣言時 2020.4.7-5.25
指標の基準を上回る箇所	21	39
指標の基準を下回る箇所	260	242
計	281	281

■主要渋滞箇所の指標別平均旅行速度



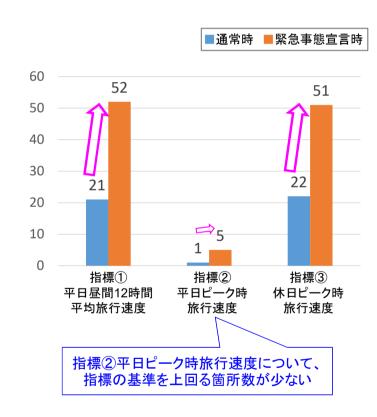
出典:ETC2.0プローブデータ 通常時:2019.4.9-5.27 緊急事態宣言時:2020.4.7-5.25

※主要渋滞筒所283筒所のうち、2筒所はデータ欠損により分析不可 主要渋滞箇所への効果が期待できる主な開通事業 【モニタリング結果:計281箇所】 緊急事態宣言時のみ指標の基準を上回る(速度が速い)箇所:18箇所 ● 通常時・緊急事態宣言時とも指標の基準を上回る(速度が速い)箇所:21箇所 ○ 緊急事態宣言時に指標の基準を下回る(速度が遅い)箇所:242箇所 道路種別 高速道路 一般国道(直轄) 一般国道(上記以外) 上記以外の道路 緊急事態宣言時のみ指標の基準を上回る(速 度が速い)箇所は、国道6号周辺を中心に分布

◆新型コロナウイルスの影響による交通状況の変化-緊急事態宣言時でも指標を下回る242箇所の詳細分析

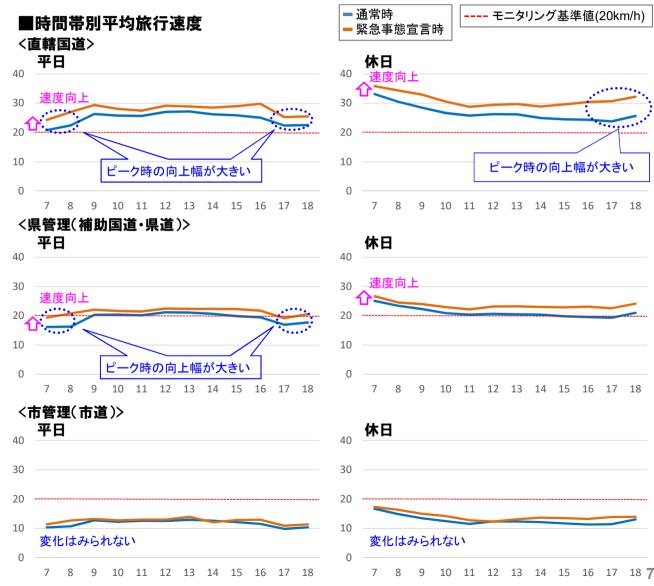
- 緊急事態宣言時でも指標の基準を下回る242箇所について、通常時と緊急事態宣言時の速度変化を詳細に分析、比較した。
- ➤ モニタリング結果をみると、指標②平日ピーク時は、指標①③に比べ通常時·緊急事態宣言時ともに基準を上回る箇所数が少ない。
- ▶ 時間帯別平均旅行速度をみると、直轄国道や県管理路線では、とくに朝・タピーク時で速度向上幅が大きく、通常時に比べオフピークとの速度差が縮小する傾向である。この結果、昼間12時間平均値を押し上げ、指標の基準を上回る箇所数の増加に繋がっていると考えられる。
- ▶ 県管理や市管理は通常時の速度が元々低く、速度向上はみられるものの指標の基準を上回るまでには至らないケースが多い状況である。

■指標別のモニタリング結果



■モニタリング指標

指標①	平日昼間12時間平均旅行速度 【基準値:20km/h】
指標②	平日ピーク時旅行速度 【基準値: 20km/h】
指標③	休日ピーク時旅行速度 【基準値: 20km/h】



◆新型コロナウイルスの影響による交通状況の変化

交通状況

- ■交通量は平日・休日ともに減少。(平日で約1割~2割、休日で約2割~4割減少)
- ■交通量の減少に伴い、**旅行速度も向上**。

(主要渋滞箇所の旅行速度) 平日昼間12時間平均旅行速度:9%向上

平日ピーク時:15%向上 休日ピーク時:17%向上

主要渋滞箇所のモニタリング

- ■主要渋滞箇所281箇所のモニタリングでは、<u>指標の基準を上回る(速度が速い)箇所</u>が、通常時21 箇所に対し、**緊急事態宣言時では39箇所と増加**。
- ■一方、緊急事態宣言時においても、指標の基準を下回る(速度が遅い)箇所が242箇所みられる。

指標を下回る箇所の詳細分析

- ■指標別のモニタリング結果では、<u>指標②平日ピーク時は、通常時・緊急事態宣言時ともに指標の</u> 基準を上回る箇所数が少ない。
- ■時間帯別平均旅行速度をみると、直轄国道や県管理路線では、とくに<u>朝・タピーク時で速度向上幅が大きく、通常時に比べオフピークとの速度差が縮小</u>する傾向である。この結果、昼間12時間平均値を押し上げ、指標の基準を上回る箇所数の増加に繋がっていると考えられる。
- ■県管理や市管理は通常時の速度が元々低く、**速度向上はみられるものの指標の基準を上回る** までには至らないケースが多い状況である。

まとめ

- ■緊急事態宣言時では、交通量減少に伴い、旅行速度が向上。
- ■しかし、不要不急の交通は減少したと思われるが、<u>生活交通や物流といった不要不急でない交</u> **通が残存**すると推察される。
- ■そのため、主要渋滞箇所からの解除に至るまでの速度向上につながる交通量の減少はこれ以上 見込めない。
- ■拡幅やバイパス整備など、交通容量拡大・交通転換につながる対策を実施していくことが必要。

◆緊急事態宣言時に指標を上回る箇所の対策方針

- ▶ 国土交通省では、交通需要マネジメント(TDM)による全国の主要渋滞筒所100筒所の解消に取り組んでいる。
- ▶ 茨城県内では、交通量減少により、速度改善が見込まれる主要渋滞箇所を対象に、TDMの実施を検討する。
- ▶ 緊急事態宣言時にモニタリング指標の基準を上回る39箇所のうち、モデルケースとして2箇所を対象に検討を進める。

■国土交通省の取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下におけるテレワーク等による渋滞解消筒所をビッグデータの活用により分析
- ・道路交通マネジメントを高度化し、交通需要マネジメント(TDM) により、全国の主要渋滞筒所100筒所の解消を目指す

■茨城県内での取り組み

・交通量減少により、速度改善が見込まれる主要渋滞箇所を対象に、 TDM実施を検討

主要渋滞箇所

281箇所

◆モニタリング指標(従来通りの指標で実施)

①平日昼間12時間平均旅行速度が20km/h以下

②平日ピーク時平均旅行速度が20km/h以下

③休日ピーク時平均旅行速度が20km/h以下

緊急事態宣言時で 速度が改善

39箇所



TDM(交通需要マネジメント)実施

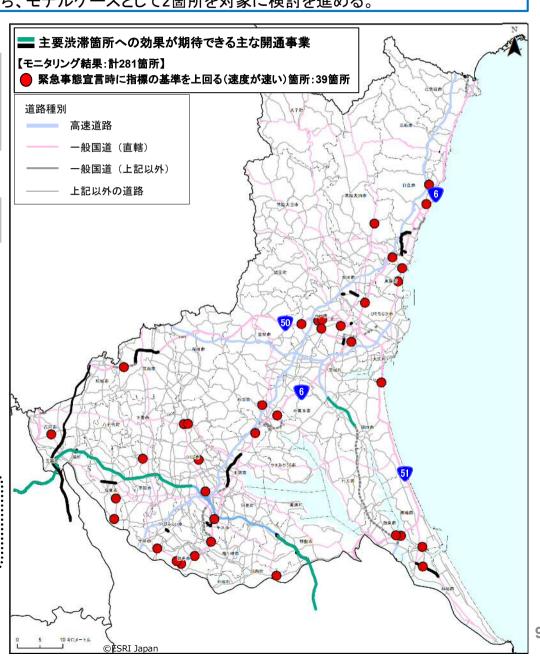
※緊急事態宣言時に指標の基準を上回る39箇所のうち、 モデルケースとして2箇所を対象に検討

TDMの例

- ・交通手段の変更(パークアンドライド・公共交通の利便性向上・自転車利用環境整備等)
- ・交通需要の時間帯平準化(時差出勤・フレックスタイム等)
- ・交通分散を図る経路変更(HP・デジタルサイネージ等による交通情報提供等)
- ・自動車交通の発生量調整(在宅勤務・ロードプライシング等)
- ・自動車の効率的利用(相乗り・カーシェアリング・共同集配等)

XTDM(Transportation Demand Management)

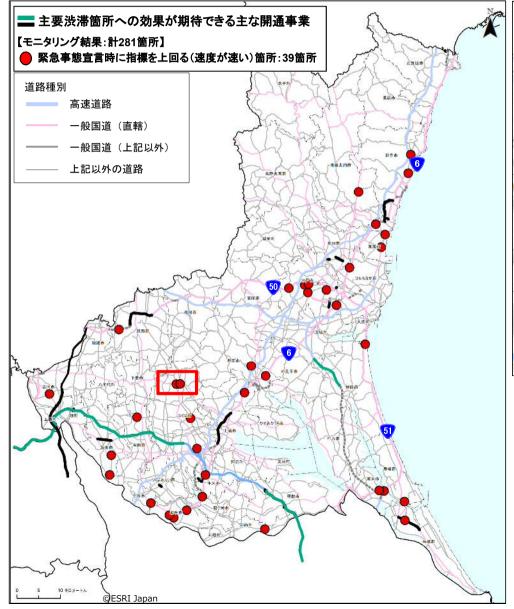
TDM(交通需要マネジメント)とは、自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取組み

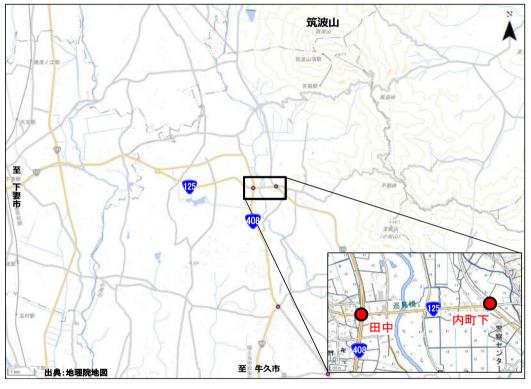


◆緊急事態宣言時に指標を上回る箇所の対策方針

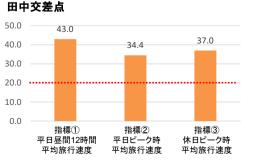
- ▶ TDM実施箇所として、パークアンドライド実施の実績があるつくば市の主要渋滞箇所2箇所(田中、内町下)を対象として検討。
- ▶ 周辺には観光地の筑波山があり、平日だけでなく、休日における観光渋滞の影響もみられる地域である。
- ▶ 当該地域は観光渋滞における渋滞対策を検討中だが、新型コロナウイルスにより観光客が減少しており、その影響を踏まえた実施スケジュールを検討していく。

■TDM実施候補箇所





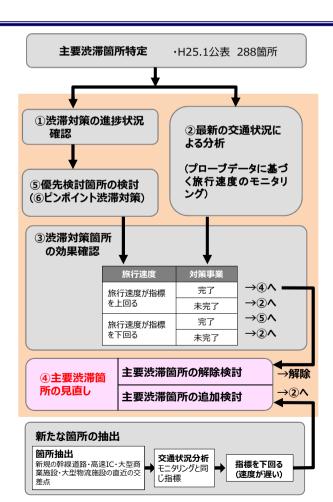
■モニタリング結果





■■■:モニタリング指標の基準値(20km/h) 分析期間: 2020.4.7-2020.5.25(緊急事態宣言時)

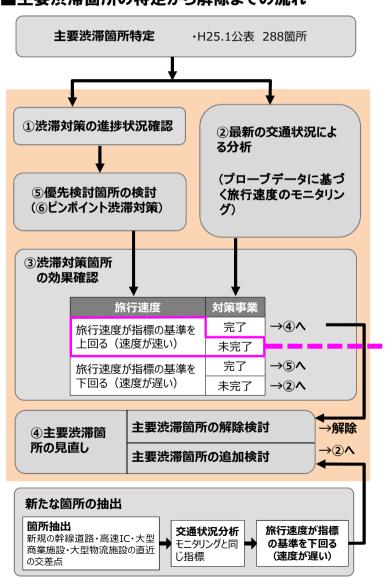
主要渋滞箇所の見直し



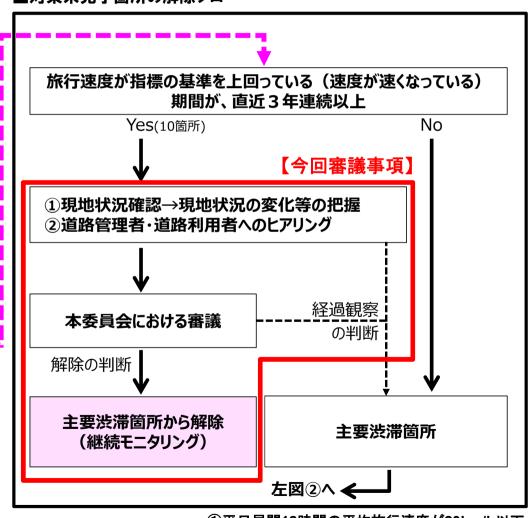
◆一定期間選定要件以下の箇所の見直しについて【第26回資料再掲】

- ▶ これまで、渋滞対策が完了し、その効果によりモニタリング指標の基準を上回った(速度が速くなった)箇所については、主要渋滞箇所からの解除を実施しており、過去5年間で5箇所を解除。
- ▶ 今年度においては、対策の効果による速度改善箇所はみられず、解除検討箇所は該当なし。
- ▶ 一方で、対策の実施有無に関わらず、複数年連続してモニタリング指標の基準を上回っている(速度が速い)箇所も存在する。
- ▶ 直近3年間継続して指標の基準を上回る(速度が速い)箇所については、解除フローに従い、道路管理者・利用者の実感や本委員会における審議を踏まえた上で、主要渋滞箇所からの解除を検討することが第26回委員会で採用された。

■主要渋滞箇所の特定から解除までの流れ



■対策未完了箇所の解除フロー



※モニタリングの指標

- ①平日昼間12時間の平均旅行速度が20km/h以下
- ②平日ピーク時の平均旅行速度が20km/h以下
- ③休日ピーク時の平均旅行速度が20km/h以下

◆道路管理者·道路利用者へのヒアリングについて

- ▶ 直近3年間継続して指標の基準を上回る10箇所について、道路管理者・道路利用者にヒアリングを実施。
 - ①対象10箇所について、道路利用者(各協会)にアンケート調査を実施
 - ②道路利用者へのアンケート結果を踏まえ、道路管理者にヒアリングを実施

■直近3年間継続して指標の基準を上回る箇所

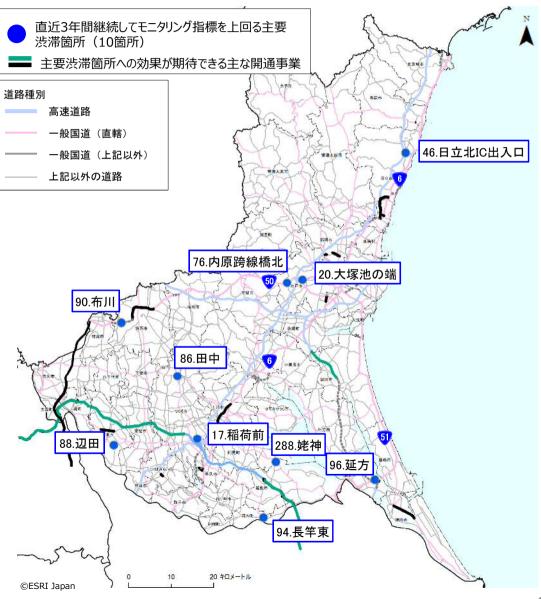
No	路線名	箇所名	管理者
17	一般国道354号	稲荷前	県
46	日立いわき線	日立北IC出入口	県
86	一般国道125号	田中	県
90	一般国道50号	布川	国
96	一般国道51号	延方	国
20	一般国道50号	大塚池の端	国
76	一般国道50号	内原跨線橋北	国
88	一般国道354号	辺田	県
94	一般国道408号	長竿東	県
288	一般国道125号	姥神	県

■道路管理者・道路利用者へのヒアリング 実施フロー

- ①対象10箇所について、道路利用者にアンケートを実施
 - 対象者:(一社)茨城県バス協会、(一社)茨城県トラック協会 (一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会
 - ・設問内容:①対象箇所の現在の渋滞の有無 ↓(渋滞していると回答した箇所について) ②詳細な渋滞状況・渋滞要因を回答

②道路管理者にヒアリングを実施

- 対象者: 国土交通省 常陸河川国道事務所、茨城県
- ・ヒアリング内容:①対象箇所の渋滞状況 ②主要渋滞筒所からの解除方針



◆道路管理者·道路利用者へのヒアリングについて

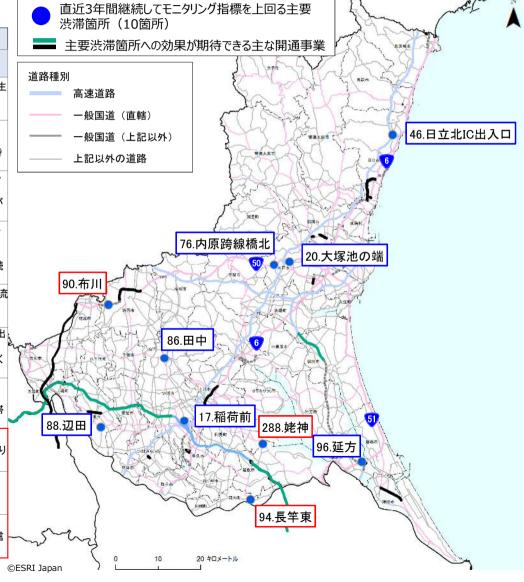
- ≫ 茨城県バス協会、トラック協会、ハイヤー・タクシー協会にアンケート調査を実施。
- ▶ 布川、長竿東、姥神の3箇所は1協会のみ渋滞していると回答。
- ▶ 上記3箇所は解除候補箇所として、道路管理者にヒアリングを実施。

■道路利用者アンケート結果

渋滞:渋滞していると回答

∷渋滞していないと回答
: わからないと回答

N/-	四次 化热 点	体配力	管理				回答
No	路線名	箇所名		バス協会	トラック協 会	ハイヤー・タ クシー協会	代表意見
17	一般国道 354号	稲荷前	県	渋滞	渋滞	渋滞	・朝夕の通勤時間帯に交通量が増え渋滞が発生 ・国道354号以外に東西の都市へ通じる道路が 無い為か朝夕にかけて特に渋滞が酷い
46	日立いわき線	日立北IC 出入口	県		渋滞	渋滞	国道6号の渋滞の影響で迂回する車が多いためと思われる日中、トラックも乗用車も通りが多く渋滞する時が多い
86	一般国道 125号	田中	県	渋滞	渋滞	渋滞	 平日は朝夕の通勤時、土日祝は筑波山、わんわんランドへ向かう車の渋滞が発生 125号と408号線が合流するため朝は大型等が多い
96	一般国道 51号	延方	国	渋滞	渋滞	渋滞	朝夕の通勤時ピーク時に交通量が増える為に 渋滞が発生している潮来方面に向けて信号の間隔が狭い洲崎交差点からの渋滞が延方まで断続的に続いている
20	一般国道 50号	大塚池 の端	国	渋滞	渋滞	渋滞	水戸IC付近の交通量が多く、旧50線からの合流 も有り渋滞していると思われる朝夕の通勤ピーク時等渋滞が発生している
76	一般国道 50号	内原跨 線橋北	国		渋滞	渋滞	 朝夕の通勤時間帯と大型商業施設への車の出入りが渋滞の要因と思われる 日中、イオンモール等の出入りの乗用車が多く渋滞する時がある
88	一般国道 354号	辺田	県	渋滞	渋滞	渋滞	大型車の通行が多いが、幅員が狭く速度低下がみられる変則的な交差点の合流地点があるために渋滞が発生していると思われる
90	一般国道 50号	布川	国		渋滞		・朝夕の通勤ピーク時に交通が集中 ・結城市からの片側2車線道路から筑西市に入り 車線減少になるため渋滞
94	一般国道 408号	長竿東	県			渋滞	・朝夕の通勤時は混むがそれ以外は混まない
28 8	一般国道 125号	姥神	県			渋滞	朝夕通勤時に少し渋滞する特に美浦村方面から江戸崎方面へ右折する信 - 号待ちで混む
				-/ 111	E ## ±	4-1/	. I + A NICHT



◆解除検討について―布川

▶ 布川では、道路利用者アンケートより、朝夕の通勤ピーク時の交通集中、沿道施設の車両出入、片側2車線道路からの車線減少等の渋 滞が指摘されている。

渋滞:渋滞していると回答

▶ 道路管理者ヒアリングより、継続的モニタリングの方針が示されている。

〇一般国道50号 90.布川

∷渋滞していないと回答 :わからないと回答

<u>[</u>	回答者	渋滞 状況	渋滞要因
道路 利用者	トラック協会	渋滞	 朝夕の通勤ピーク時に交通が集中。 トライアル付近での車の出入が多く渋滞が発生。 結城市からの片側2車線道路から筑西市に入り車線減少になるため渋滞している。 朝はトラックが多いが日中は乗用車が多く、店舗やわき道からの車が多く少し渋滞する。
	バス協会		
	ハイヤー・タ クシー協会		

	回答者	渋滞 状況	主要渋滞箇所からの解除方針
道路 管理者	国	渋滞	• 結城バイパス、下館バイパスの事業区間のため、事業の進捗状況を確認しつつ、継続的にモニタリングを実施する方針





◆解除検討について一布川

指標① 平日昼間12時間平均

指標② 平日ピーク時

- ▶ 道路利用者アンケートより、車線減少による渋滞との指摘を受けており、当該交差点の前後区間で速度低下が確認される。
- ▶ 当該交差点周辺は、結城バイパス、下館バイパスの事業区間であり、4車線整備が進められており、今後、道路事業により交通流動の変化が想定されることから、事業の進捗状況を確認しつつ、継続的にモニタリングを実施する。

■国道50号 ■市道~小川川島停車場線(交差道路) 7時台 9時台 H31.1~R1.12 9時台 平日 11時台 11時台 13時台 13時台 15時台 15時台 17時台 17時台 舟玉川島 伊禮美 筑西遊湯館 。 主要渋滞箇所 結城バイパス 下館バイパス(暫定2車線) 舟玉川島停車場線 (2018.3開通) (暫定2車線) 30~40km/h ■昭和産業 40km/h以上 、 凍し モニタリング評価区間 ● 五戸浄水坦 川島水処理センター・ 出典:ETC2.0プローブデータ 現況(H31.1~R1.12平日) ©NTTインフラネット 200m ONTTYンプラネット 筑西彦李 7時台 7時台 9時台 9時台 11時台 11時台 H31.1~R1.12 13時台 13時台 平日 15時台 15時台 17時台 17時台 ■モニタリング指標 50 [km/h] 47.5 40 28.5 21.7 24.2 24.5 30 20 11.2 10 ■:特定時

指標③ 休日ピーク時

■:最新(R1)

◆解除検討について―長竿東

▶ 長竿東では、道路利用者アンケートより、国道408号成田方面において、朝夕の通勤時に混雑するが、それ以外は混雑していない旨、指摘されている。要因として、隣接交差点との信号不連動が挙げられている。

渋滞:渋滞していると回答

: 渋滞していないと回答

▶ 道路管理者ヒアリングより、主要渋滞箇所から解除する方針が示されている。

〇一般国道408号 94.長竿東

			■:わからないと回答
ļ	回答者	渋滞 状況	渋滞要因
	トラック協会		
道路利用者	バス協会		
	ハイヤー・タ クシー協会	渋滞	 408号線は成田方面へ行く道で、朝夕の通勤時は混むがそれ以外は混まない。 旧道の信号と新道の信号が近接しており、片方が青なのに片方は赤となることがあり、原因の一つかと思われる。

[回答者	渋滞 状況	主要渋滞箇所からの解除方針
道路 管理者	茨城県		・渋滞の発生はみられない。・速度データからも改善がみられるので、主要渋滞箇所から解除する方針で良い。

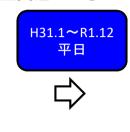


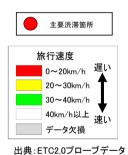


◆解除検討について一長竿東

- ▶ 道路利用者アンケートの回答内容と旅行速度データから、速度低下は限定的であり、著しい渋滞は発生していないと想定される。
- ▶ また、現地調査においても、目立った渋滞は観測されなかった。
- ▶ 当該交差点は最新のモニタリング指標を大きく満足しており、本委員会において、主要渋滞箇所からの解除を諮る。

■国道408号





現況(H31.1~R1.12平日)

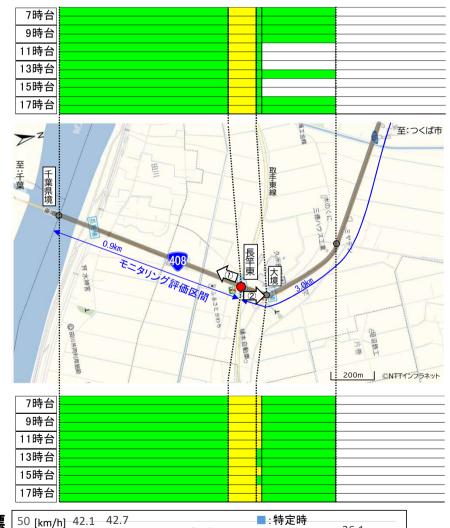


■モニタリング指標

30

20 10

指標① 平日昼間12時間平均



34.5 34.1 ■:最新(R1)

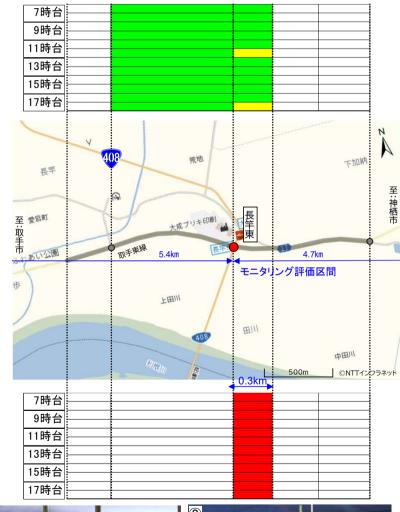
指標② 平日ピーク時

36.1

指標③ 休日ピーク時

22.7

■取手東線(交差道路)







◆解除検討について一姥神

- ▶ 姥神では、道路利用者アンケートより、朝夕通勤時に少し渋滞するとの回答があった。
- ▶ 要因として、美浦村方面から江戸崎方面へ右折する信号待ちで混むと指摘されている。
- ▶ 道路管理者ヒアリングより、主要渋滞箇所から解除する方針が示されている。

〇一般国道125号 288.姥神

渋滞: 渋滞していると回答 □ : 渋滞していないと回答 □ : わからないと回答

[回答者	渋滞 状況	渋滞要因
	トラック協会		
道路 利用者	バス協会		
	ハイヤー・タ クシー協会	渋滞	朝夕通勤時に少し渋滞する。特に美浦村方面から江戸崎方面へ右折する信号待ちで混む。

回		回答者	渋滞 状況	主要渋滞箇所からの解除方針				
	道路 管理者	茨城県		美浦村方面からの右折は混雑している場合もあるが、深刻な渋滞はみられない。主要渋滞箇所から解除する方針で良い。				





◆解除検討について-姥神

- ▶ 道路利用者アンケートの回答内容と旅行速度データから、速度低下は限定的であり、著しい渋滞は発生していないと想定される。
- ▶ また、現地調査においても、目立った渋滞は観測されなかった。

指標① 平日昼間12時間平均

指標② 平日ピーク時

▶ 当該交差点は最新のモニタリング指標を満足しており、本委員会において、主要渋滞箇所からの解除を諮る。

■江戸崎新利根線(交差道路) ■国道125号 7時台 9時台 H31.1~R1.12 9時台 平日 11時台 11時台 13時台 13時台 15時台 15時台 17時台 17時台 至:美浦村 大谷 至:千葉 主要渋滞箇所 **推播报题解析** 江戸崎新利根線 30~40km/h モニタリング評価区間 モニタリング評価区間 40km/h以上 <mark>凍い</mark> 出典:ETC2.0プローブデータ 現況(H31.1~R1.12平日) 100m ©NTTインフラネット 至:江戸崎 7時台 7時台 9時台 9時台 11時台 11時台 H31.1~R1.12 13時台 13時台 平日 15時台 15時台 17時台 17時台 ■モニタリング指標 50 [km/h] ■:特定時 ■:最新(R1) 25.4 24.0 30 20.6 21.1 20.3 20.1 20 10

指標③ 休日ピーク時

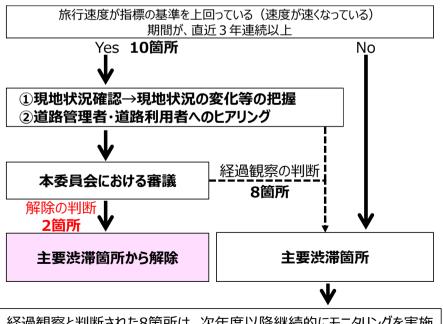
▶一定期間選定要件以下の箇所の見直しについて

- ▶ 道路管理者・道路利用者ヒアリングの結果を踏まえ、長竿東・姥神の2箇所については、主要渋滞箇所からの解除を本委員会で諮る。
- ▶ 残る8箇所については、次年度以降、継続的にモニタリングを実施する。

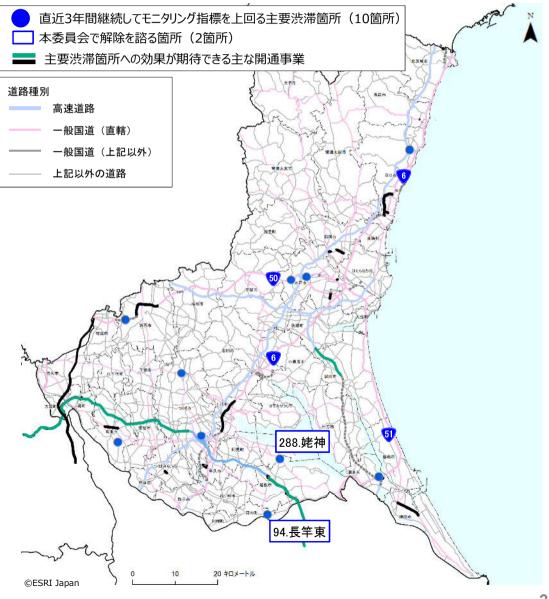
■直近3年間継続して指標の基準を上回る箇所

No	路線名	箇所名	管理者	解除検討
17	一般国道354号	稲荷前	県	継続モニタリング
46	日立いわき線	日立北IC出入口	県	継続モニタリング
86	一般国道125号	田中	県	継続モニタリング
90	一般国道50号	布川	国	継続モニタリング
96	一般国道51号	延方	国	継続モニタリング
20	一般国道50号	大塚池の端	国	継続モニタリング
76	一般国道50号	内原跨線橋北	国	継続モニタリング
88	一般国道354号	辺田	県	継続モニタリング
94	一般国道408号	長竿東	県	解除
288	一般国道125号	姥神	県	解除

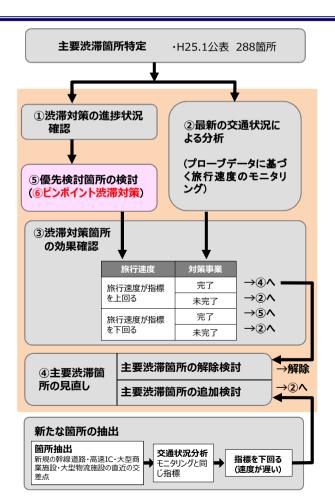
■対策未完了箇所の解除フロー



経過観察と判断された8箇所は、次年度以降継続的にモニタリングを実施



ピンポイント渋滞対策について



◆主要渋滞箇所の対策検討について

- ▶ 主要渋滞箇所の対策検討にあたり、直轄国道の交差点を対象に、最新交通データによる速度低下の著しい箇所を抽出。
- ▶ また、安全性を考慮し、事故危険箇所に該当する主要渋滞箇所を抽出。今後、対策立案箇所を選定し、対策検討を実施。
- ▶ なお、国道50号大工町においては、ピンポイント渋滞対策の実施を検討中。

■対策検討箇所の選定フロー

直轄の主要渋滞箇所 96箇所※



【最新交通データでのチェック】

■ 以下の指標を踏まえ、速度低下箇所を抽出。

指標①:慢性的な速度低下が発生している箇所

·平日昼間12時間平均旅行速度20km/h以下 ·休日昼間12時間平均旅行速度20km/h以下

指標②:ピーク時間帯において著しい混雑が発生している箇所

・ピーク時に20km/h以下となる区間が200m以上連続

・ピーク時に20km/h以下となる区間の流入交通量が1,000台/時以上

指標③:ボトルネック性

・主方向の速度低下区間が下流側(進行方向側)からの先詰まりによるものか判定

・速度低下の先頭が主要渋滞箇所の場合、当該交差点をボトルネックとして判定

指標4:損失時間

・主要渋滞箇所ごとに損失時間を算出

・主要渋滞箇所の損失時間が県平均値と比較

【主要渋滞箇所と事故危険箇所のマッチング】

■ 以下の指標①または②に合致する主要渋滞箇所を抽出(32箇所)

指標①:事故率または事故件数が上位20位以内(上位約10%に該当)

指標②: 追突事故、人対車両事故、左折事故のいずれかの発生件数が上位20位以内



【対策立案箇所の選定】

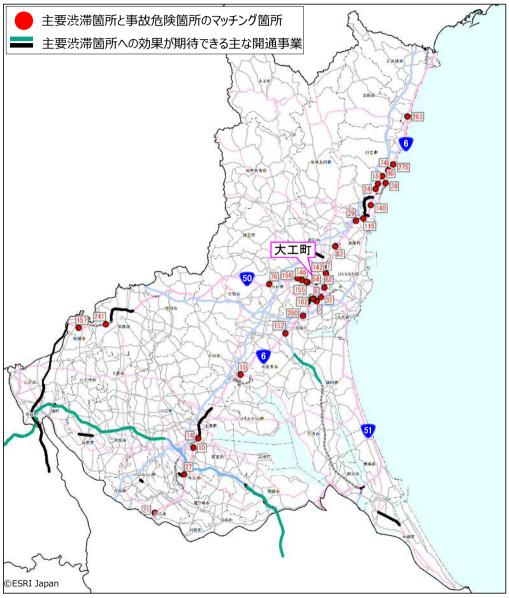
- 現地診断を踏まえ、渋滞要因分析を実施。
- 必要な対策を検討

■抽出結果

No	路線名	交差点名	市町村	渋滞 ○:20km/h以下の 速度低下	ボトルネック 〇: 当該交差点が ボトルネック	損失時間 〇:県平均より高い	事故危険箇所 〇:該当	
5	国道50号	吉田小南	水戸市	0	0	0	0	
7	国道6号	市毛十字路	ひたちなか市	0	0	0	0	
10	国道6号	学園東大通り入口	土浦市	0	0	0	0	
24	国道6号	鮎川橋北	日立市	0	0	0	0	
29	国道6号	大和田町	日立市	0	0	0	0	
142	国道6号	下田彦南	ひたちなか市	0	0	0	0	
27	国道6号	田宮町	牛久市	0			0	
37	国道6号	酒門六差路	水戸市	0	0		0	
82	国道6号	孫目十字路	ひたちなか市	0			0	
156	国道50号	新原三差路	水戸市	0	0		0	
157	国道50号	文化センター南	結城市	0	0		0	
275	国道6号	田尻町	日立市	0		0	0	
14	国道6号	中村陸橋下	土浦市	0	0	0	0	
21	国道6号	国道294号入口	取手市	0	0	0	0	
39	国道6号	旭町	日立市	0		0	0	
3	国道6号	酒門町	水戸市	0	0	0	0	
54	国道50号	大工町	水戸市	0	0	0	0	
80	国道6号	桐木田	日立市	0	0	0	0	
18	国道6号	兎平	日立市	0		0	0	
182	国道50号	水戸工業高校東	水戸市	0	0		0	
15	国道6号	山王台	石岡市			0	0	
62	国道6号	浜田十字路	水戸市			0	0	
74	国道6号	国土交通省前	日立市				0	
76	国道50号	内原跨線橋北	水戸市				0	
115	国道6号	石名坂西	日立市			0	0	
140	国道6号	金沢団地入口	日立市			0	0	
146	国道50号	自由ヶ丘	水戸市				0	
152	国道6号	茨城東高校北	茨城町				0	
155	国道50号	大工町2丁目	水戸市			0	0	
241	国道50号	市民病院入口	筑西市				0	
263	国道6号	高戸	高萩市				0	
280	国道6号	矢頭南	茨城町				0	
	•	•	•	•			22	

◆主要渋滞箇所の対策検討について

■位置図



■抽出結果

No	路線名	交差点名	市町村	渋滞 ○:20km/h以下の 速度低下	ボトルネック 〇:当該交差点が ボトルネック	損失時間 〇:県平均より高い	事故危険箇所 〇:該当
5	国道50号	吉田小南	水戸市	0	0	0	0
7	国道6号	市毛十字路	ひたちなか市	0	0	0	0
10	国道6号	学園東大通り入口	土浦市	0	0	0	0
24	国道6号	鮎川橋北	日立市	0	0	0	0
29	国道6号	大和田町	日立市	0	0	0	0
142	国道6号	下田彦南	ひたちなか市	0	0	0	0
27	国道6号	田宮町	牛久市	0			0
37	国道6号	酒門六差路	水戸市	0	0		0
82	国道6号	孫目十字路	ひたちなか市	0			0
156	国道50号	新原三差路	水戸市	0	0		0
157	国道50号	文化センター南	結城市	0	0		0
275	国道6号	田尻町	日立市	0		0	0
14	国道6号	中村陸橋下	土浦市	0	0	0	0
21	国道6号	国道294号入口	取手市	0	0	0	0
39	国道6号	旭町	日立市	0		0	0
3	国道6号	酒門町	水戸市	0	0	0	0
54	国道50号	大工町	水戸市	0	0	0	0
80	国道6号	桐木田	日立市	0	0	0	0
18	国道6号	兎平	日立市	0		0	0
182	国道50号	水戸工業高校東	水戸市	0	0		0
15	国道6号	山王台	石岡市			0	0
62	国道6号	浜田十字路	水戸市			0	0
74	国道6号	国土交通省前	目立市				0
76	国道50号	内原跨線橋北	水戸市				0
115	国道6号	石名坂西	目立市			0	0
140	国道6号	金沢団地入口	日立市			0	0
146	国道50号	自由ヶ丘	水戸市				0
152	国道6号	茨城東高校北	茨城町				0
155	国道50号	大工町2丁目	水戸市			0	0
241	国道50号	市民病院入口	筑西市				0
263	国道6号	高戸	高萩市				0
280	国道6号	矢頭南	茨城町				0

◆国道50号大工町交差点における渋滞対策

- ▶ 国道50号大工町は、日中を通してバスの往来が多く、ピーク時間帯は第1車線がバス専用レーンとして運用されている。
- ▶ 一般車両は第2車線を走行するため交通が集中し、直進車両の車列に右折車両が巻き込まれ、滞留が延伸している状況。
- ▶ また、バスベイが設置されていないため、バス停車により後続車両の直進阻害が発生。
- 対策として、右折レーンの延伸により、右折車の滞留スペースを確保し、交通の円滑化を図る。
- ▶ 加えて、バスがバス停から右折車線へ円滑に進入できるよう停止禁止区分を設置し、バス発車待ちによる後続車両の円滑性向上を図る。

■対策概要

≪位置図≫





≪広域図≫



≪説明図≫

